

市民が作る、塩竈への思いが詰まった演劇

塩竈夢ミュージカル

一般公募で集まった塩竈市民たちによる「塩竈夢ミュージカル」が毎年行われており、今年で14回目を迎えます。

劇団「I・Q150」を主宰する丹野久美子さんが作・演出、只野展也さんが音楽監督を務めてから11回目になります。毎回オリジナル脚本・楽曲で制作されています。

プロデューサーの菅野政子さんは子どもたちが夢を持てるような活動をしたいという思いで、10年前からプロデューサーを務めています。このミュージカルは出演者だけでなく、多くのスタッフや地元商店の方々のご協力に支えられています。これから塩竈を担っていく子どもたちの姿や市民が力を合せている姿を見てほしいです。このミュージカルに対する思いを話してくれました。



▲去年は、戦後の塩竈を舞台に演じました。



▶練習風景。ダンスの練習は、プロの先生から教わり、皆さんの自信につながっています。



問 遊ホール ☎ 365-5000



塩竈夢ミュージカルプロデューサー 菅野政子さん

90人の出演者やスタッフで舞台を作り上げ、会場を盛り上げました。今年も昨年9月から稽古が始まり、本番に向けて練習を重ねています。塩竈が大好きなスタッフによる作品を見て、新たな塩竈を発見してみたいかががでしょうか。

塩竈夢ミュージカル2017 「星の子ども」

詳しくは16ページ「生涯学習のとびら」をご覧ください。



シリーズ 日本遺産 「政宗が育んだ“伊達”な文化」と塩竈

日本のお正月



正月とは、一年の最初の月、年神様をお迎えする行事のことです。なお、「正」には年の始めという意味があります。歳末には、すす払いを行い、しめ縄などを飾り、年神様をお迎えする準備をします。年神様は、その年の作物が豊かに実るよう、また、家族に幸せをもたらすために、

山から元旦に降りてくると言われています。門松には、松竹梅が組み合わされた形に調えられる場合があり、年神様を迎える目印とされています。

鹽竈神社の東参道入り口にある旧亀井邸は、古い伝統を引き継いでいます。旧亀井邸を管理しているNPOみなとしほがまの佐藤さんは「旧亀井邸でも、昔から正月にはしめ縄や門松などで飾り付けをしていたと聞いています。今でも伝統を引き継ぎ、正月飾りをしておもてなししています。1月3日から開館していますので、子どもたちにも昔ながらの正月の雰囲気を感じてほしいです。」と話しました。



NPOみなとしほがま 佐藤健太郎さん



子板やたこ揚げなど、昔ながらの遊びを目にする機会は減りましたが、子どもたちがお正月を心待ちにする気持ちは今も変わらないでしょう。

さて、どのような目的で神社に行きますか。play(遊ぶ)それともpray(祈願する)ですか。遊びに行くこともありますが、お参りに行くことが多いと思います。新年には、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化財であり、国の重要文化財の鹽竈神社に出向いて、願いごとや感謝の祈りを捧げ、特別な空間で心身をリフレッシュしてみませんか。



旧亀井邸

【参考文献】
【塩竈の伝承と史話】

問 生涯学習課学習支援係 ☎ 362-2556

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。 防災行政無線確認電話 ☎ 364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1MHz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

「広報しおがま」は、22,700部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は73円です。

【塩竈市の人口】 H29.11.30現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	54,895人 (+28人)
男	26,201人 (-10人)
女	28,694人 (+38人)
世帯数	23,402戸 (+62戸)



広報しおがま

2018.1

編集発行 / 塩竈市市民総務部政策課
〒985-8501 宮城県塩竈市旭町1番1号
☎022-355-5728 FAX022-367-3124

塩竈市公式ホームページ
http://www.city.shiogama.miyagi.jp/
E-mail: sisei@city.shiogama.miyagi.jp



コード 読取対応
スマートフォンから
ホームページに
アクセスできます